

# ネギ

茨城県  
JA岩井

## 初夏どり・夏どりに適応する 二刀流のネギ品種「初夏一文字」



↑濃緑色の葉と、つやつやの軟白部のコントラストが際立つ「初夏一文字」。



↑JA岩井では年間約9,000tものネギを出荷している。



↑写真左は筆者。写真右は筆者の父光男さん。

年間出荷量  
約9000t!

JA岩井 営農部営農課 後藤 憲司

### ネギ・レタス生産量を支える産地

JA岩井は、茨城県の南西部に位置し、都心まで50km圏内の都市近郊型農業地域です。この地の利を生かし、首都圏への生鮮野菜供給基地として重要な役割を担っています。

一年を通して穏やかな気候風土に、農業機械が使いやすい洪積層の平坦な地形、豊富な地下水と、野菜作りに適す好条件がそろった地域です。

特産品のネギ・レタスは全国でもトップクラスの生産量を誇り、産地化されて消費者の毎日の食卓を支えています。

### 地域概況



### 求めている新品種 「初夏一文字」

現在、当地の初夏ネギの主力品種は、晩抽性・早太りにすぐれたA品種(他社)。夏ネギの主力品種は、在圃性の高いB品種(他社)の構成となっていますが、初夏ネギの終盤となる6月下旬になるとA品種は、首割れや腹割れが

います。



↑そろってよく太る「初夏一文字」は立性で秀品率が高い。



↑「初夏一文字」生産者の真中さん。収穫後の出荷調製作業には、皮がむきやすいなどの省力性が求められる。



きれいに箱詰めされた自慢のネギを持つ藤井さんご夫妻。  
「いつもくらしの中にネギを！」と語る、地産ネギ愛にあふれる筆者。



↑「初夏一文字」は、首部のしまりがよく、ばらけにくく歩どまりが高い。

当地での「初夏一文字」初夏どり（6月中下旬）の作型は、播種が10月中下

### 収穫期の汎用性が好評

26年産より6月中旬〜7月中旬どりの作型で本格導入を決定しました。加えて「初夏一文字」は、晩抽性も有しているため5月からの出荷が可能で、適応幅の広い品種であることも試作を通じて分かりました。

試作の結果、「初夏一文字」は、①葉色が濃く、緑と白のコントラストがきれい。②草丈が短く、葉鞘の伸びがゆっくりでコンバクトに仕上がる。③首のばらけが少ない。④見た目以上に重量感がある。と好評で、当部会で求めていたものと一致したことから、平成

26年産より6月中旬〜7月中旬どりの作型で、期待できる試作品種「TNE・743」（「初夏一文字」の提案があり、平成22〜25年にかけて面積や作型を少しずつ拡大しながら試作を実施しました。

発生するなど、品質の低下が見受けられるようになります。一方、夏ネギの出荷開始期にあたる7月上旬のB品種は、生育がゆっくりな性質から、太りが鈍く、収量の確保ができにくいといった特徴もあり、A品種の早太り性・晩抽性、B品種の在圃性を有した新品種を探求していました。

そういつた中、タキイ種苗より、6月下旬〜7月中旬どりの作型で、期待できる試作品種「TNE・743」（「初夏一文字」の提案があり、平成22〜25年にかけて面積や作型を少しずつ拡大しながら試作を実施しました。

JA岩井のオリジナルキャラクター！  
～未来Farmer～

【ネッキーマンプロフィール】  
2009年4月、1本のネギからネッキーが誕生。その後成長と進化を遂げ、未来ファーマー「ネッキーマン」に。子どもたちに夢を、野菜の力でみんなに元気と感動を与えるべく、未来形アンドロイド農業者として活躍。  
180cm・70kg  
茨城県坂東市出身

YouTubeにて「ネッキーマン」情報公開中！

未来へ。世界へ。  
JA岩井・岩井農協農産部

JA岩井「初夏一文字」作型表

10月	11	12	1	2	3	4	5	6	7
●	●		×	×					■
			×	×					■

●：播種 ×：定植 ■：収穫

「初夏一文字」の本格導入から3年が

必要があります。必要がありま

少ないため、土寄せは3〜4回とこまめに、土寄せ時の管理機による断根のショックを軽減することがポイントになります。また、状況によっては5〜6月に「べと病」、6〜7月に「さび病」が発生しやすくなるので、症状が見られる前から早期防除を徹底する必要があります。

「初夏一文字」は、他品種より根量が少なく、土寄せは3〜4回とこまめに、土寄せ時の管理機による断根のショックを軽減することがポイントになります。また、状況によっては5〜6月に「べと病」、6〜7月に「さび病」が発生しやすくなるので、症状が見られる前から早期防除を徹底する必要があります。

旬、定植は12月下旬〜1月上旬、定植後〜4月上旬まではトンネル被覆、トンネル除去後に土寄せ・追肥を行います。施肥は総チンソ量で10a当たり25kgを目安とします。夏どり（7月上旬）の作型は、播種が11月上旬、定植は2月〜3月上旬、5月より土寄せ・追肥を行います。施肥は総チンソ量で10a当たり20kgを目安とします。

### 高い品質のネギを安定出荷

当産地は、「いつもくらしの中にネギを」を目標に、周年出荷体系が確立されています。今後は、夏秋、秋冬、春どりの作型で、高品質なネギが安定出荷できるよう、適品種の選定をさらに進め、⑤ブランドネギの進化への挑戦を続けていきたいと考えています。これからもタキイ種苗には、優良品種の開発をよろしく願っています！